

景況調査（第100回 企業経営者の景気見通し）

三重県・愛知県主要業種の景気見通し

（2019年度下期実績見込み・2020年度上期見通し）

百五総合研究所では、半年ごとに三重県内、愛知県内主要業種の事業所の皆様に景況アンケート調査を実施し、その結果をとりまとめています。

お忙しいなかご協力いただきました経営者の皆様方には厚く御礼申し上げます。

なお、2016年度上期より、愛知県分の調査結果につきましては、三重県分とは別にとりまとめています。

[目次]

調査の概要	1
I. 三重県	
調査結果の要旨	2
1. 業況判断	3
2. 売上高	6
3. 販売数量・在庫量	8
4. 販売価格・仕入価格	9
5. 採算・資金繰り	10
6. 設備投資	11
7. 雇用	15
8. 賞与	17
9. 賃金改定	18
10. 経営上の問題	19
II. 愛知県	
愛知県内の景気見通し	20
III. 特別調査	
外国人の雇用・活用状況について	26
IV. 生の声	29

[調査の概要]

- 調査対象：
 - ①三重県内の事業所 1,174 先 (回答 447 先/回答率 38.1%)
 - ②愛知県内の事業所 437 先 (回答 97 先/回答率 22.2%)
 - (合計調査対象数 1,611 先 (回答 544 先/回答率 33.8%))
- 調査時期： 2020 年 1 月中旬～下旬
- 調査対象期間： 2019 年度下期 (19 年 10 月～20 年 3 月) 実績見込み (文中表記「今期」)
2020 年度上期 (20 年 4 月～9 月) 見通し (文中表記「来期」)
- 調査方法： アンケート票送付及びwebアンケート
- 回答状況

		三重県		愛知県		全回答	
		回答数	構成比	回答数	構成比	回答数	構成比
全企業		447	100.0%	97	100.0%	544	100.0%
規模別	大・中堅企業(資本金1億円以上)	63	14.1%	8	8.2%	71	13.1%
	中小企業(資本金1億円未満+個人事業)	384	85.9%	89	91.8%	473	86.9%
業種別	製造業	179	40.0%	38	39.2%	217	39.9%
	食料品(飲料含む)	29	6.5%	5	5.2%	34	6.3%
	繊維	6	1.3%	3	3.1%	9	1.7%
	印刷	9	2.0%	0	0.0%	9	1.7%
	石油・化学	15	3.4%	2	2.1%	17	3.1%
	窯業・土石	14	3.1%	0	0.0%	14	2.6%
	一般機器	23	5.1%	4	4.1%	27	5.0%
	電気機器	17	3.8%	1	1.0%	18	3.3%
	輸送用機器	23	5.1%	7	7.2%	30	5.5%
	その他製造	43	9.6%	16	16.5%	59	10.8%
	非製造業	243	54.4%	59	60.8%	302	55.5%
	建設	72	16.1%	16	16.5%	88	16.2%
	不動産	13	2.9%	3	3.1%	16	2.9%
	卸売	27	6.0%	13	13.4%	40	7.4%
	小売	34	7.6%	4	4.1%	38	7.0%
	運輸・倉庫	29	6.5%	8	8.2%	37	6.8%
	観光・宿泊	20	4.5%	1	1.0%	21	3.9%
	サービス(旅行代理店、情報通信、飲食店含む)	48	10.7%	14	14.4%	62	11.4%
	地場産業	25	5.6%	-	-	25	4.6%
製材	8	1.8%	-	-	8	1.5%	
真珠養殖	1	0.2%	-	-	1	0.2%	
真珠加工販売	1	0.2%	-	-	1	0.2%	
銑鉄鋳物	4	0.9%	-	-	4	0.7%	
萬古焼製造	3	0.7%	-	-	3	0.6%	
萬古焼卸売	8	1.8%	-	-	8	1.5%	
地域別	北勢	194	43.4%	-	-	194	35.7%
	中勢	115	25.7%	-	-	115	21.1%
	南勢	63	14.1%	-	-	63	11.6%
	伊賀	47	10.5%	-	-	47	8.6%
	東紀州	28	6.3%	-	-	28	5.1%
	愛知県	-	-	97	100.0%	97	17.8%

6. その他

○本文中の「BSI」とは、ビジネス・サーベイ・インデックスの略称。本調査では、下記の算式で算出している。本調査では、前年同期と比べた「上昇」「下降」の変化方向を問うている。

$$BSI = \frac{\text{上昇(増加・好転)事業所数} - \text{下降(減少・悪化)事業所数}}{\text{有効回答事業所数}} \times 100$$

○調査対象は「事業所」であるが本文及び図表中では「企業」と表記している。

○年次は西暦表記とし、本文及び図表中では年次を西暦下2桁で表記している。

【調査結果の要旨】

業況感は大きく下降、来期は下降傾向弱まる見通し。

【概況】

三重県内の企業の 業況判断 BSI は、2019 年度下期は $\Delta 23.3$ と 2 期連続のマイナスとなり、19 年度上期 ($\Delta 8.9$) 及び今期見通し ($\Delta 21.5$) を下回った。20 年度上期は $\Delta 16.7$ となりやや改善の見通しとなった。業況感は、今期は大きく下降したが、来期は下降傾向が弱まる見通し。

調査対象全 22 業種のうち業況判断 BSI がプラスの業種は、今期は 2 業種、来期は 1 業種のみとなった。今期は、製造業、非製造業 とともに前回調査時の見通しの通り大きく落ち込んだが、来期はいずれも下降傾向が弱まる見通しとなった。

今期とくに落ち込みが大きいのは、小売、石油・化学、輸送用機器など、来期は小売、一般機器、輸送用機器などで厳しい見通し。売上高 BSI も今期 5 期ぶりのマイナスとなり、来期もほぼ横ばいの見通しとなった。米中貿易摩擦、中国、欧州など世界経済の減速、消費税増税などが、売上高やマインドに大きく影響を与えたとみられる。来期は、災害復興・国土強靱化やオリンピック関連、東紀州地域の道路整備関連の需要、半導体市況の復調、米中貿易摩擦の影響緩和などによる需要回復を見込む企業がみられた。

設備投資 (投資額 500 万円以上) を実施する企業割合は、前期比ほぼ横ばいも来期は上向き。

人員 が不足とする企業は前期 6 割弱から今期 5 割強に低下し、不足感はやや和らいだが、観光・宿泊や建設、運輸・倉庫など非製造業では依然不足感が強い。経営上の問題 では、非製造業で「人手不足」が大きく上昇、製造業では「売上不振」や「人件費の上昇」などが上昇した。

19 年中に 賃上げ した企業の割合は約 7 割で、製造業で前年を上回った。

※本調査の実施は1月であり新型コロナウイルス感染拡大の影響は加味されていないとみられる。(1 月 21 日に中国全土に感染症危険情報レベル1 (注意喚起) 発出、同 28 日に武漢市滞在歴のない感染者国内初確認)

BSI	判断	2019 年度 上期 (前期)	2019 年度 下期 (今期)	2020 年度 上期見通し (来期)
業況判断 BSI	2 期連続のマイナス、来期はマイナス幅縮小	$\Delta 8.9$	$\Delta 23.3$	$\Delta 16.7$
大・中堅企業	2 期連続のマイナス、来期はマイナス幅縮小	$\Delta 6.3$	$\Delta 23.8$	$\Delta 11.1$
中小企業	2 期連続のマイナス、来期はマイナス幅縮小	$\Delta 9.3$	$\Delta 23.2$	$\Delta 17.7$
売上高 BSI	5 期ぶりのマイナス、来期はほぼ横ばい	1.5	$\Delta 13.1$	$\Delta 12.2$
販売数量 BSI	2 期連続のマイナス、来期はほぼ横ばい	$\Delta 1.3$	$\Delta 15.5$	$\Delta 14.0$
在庫量 BSI	6 期ぶりのマイナス、来期はわずかにマイナス	0.5	$\Delta 1.0$	$\Delta 0.2$
販売価格 BSI	6 期連続のプラス、来期はわずかにマイナス	9.1	1.8	$\Delta 0.5$
仕入価格 BSI	やや改善するも依然プラス	38.5	29.5	28.0
採算 BSI	2 期連続のマイナス、来期もマイナス	$\Delta 10.3$	$\Delta 15.7$	$\Delta 12.0$
資金繰り BSI	13 期ぶりのマイナス、来期もマイナス	2.9	$\Delta 2.7$	$\Delta 5.7$
設備過不足感	14 期連続「不足」が「過剰」を上回るもやや低下	10.9	8.9	—
設備投資実施割合	ほぼ横ばい、来期は上向く	44.2%	44.7%	49.2%
雇用過不足感	「不足」が 19 期連続で「過剰」を上回るも低下	52.0	47.2	—

(※) 過不足感は「不足」－「過剰」。「不足」は「不足」＋「やや不足」の割合、「過剰」は「過剰」＋「やや過剰」の割合。

1. 業況判断 (自社の属する業種の景気)

業況判断BSIは、今期2期連続のマイナスで大きく下降、来期はやや改善

◆全企業

業況判断BSIは、2019年度下期(以下、今期)は $\Delta 23.3$ と2期連続のマイナスとなり、2019年度上期(以下、前期)($\Delta 8.9$)を大きく下回り、前回調査時の今期見通し($\Delta 21.5$)もやや下回った。

2020年度上期(以下、来期)は $\Delta 16.7$ となりマイナス幅は縮小し、下降傾向は弱まる見通し。

◆業種別 …今期は、製造業・非製造業ともに落ち込み、来期は厳しいながらも改善。

(※) 今期BSIのプラス幅の大きい業種順に記載。

◇製造業 …今期($\Delta 26.0$)は2期連続の2桁マイナスでマイナス幅拡大。来期($\Delta 12.9$)はマイナスながら改善。

- 【電気機器】 今期2期連続のマイナスでマイナス幅拡大、来期は0.0に改善。今期は米中貿易摩擦の影響大きい。来期は半導体市況等の持ち直しを見込む。
- 【窯業・土石】 今期2期連続のマイナスでマイナス幅拡大、来期は0.0に改善。災害関連の公共工事など見込む。
- 【その他製造】 今期2期連続のマイナスでマイナス幅拡大、来期は0.0に改善。来期は災害復興、オリンピック関連の受注、米中貿易摩擦の影響低下等見込む。
- 【一般機器】 今期3期連続のマイナスもマイナス幅縮小、来期はマイナス幅拡大。中国経済、世界経済の減速、先行き不透明感を懸念。
- 【食料品】 今期2期ぶりのマイナス、来期はマイナス幅縮小。売上高は今期5期連続プラス、来期もプラス。
- 【印刷】 今期7期連続のマイナス、来期はマイナス幅縮小。販売価格がプラス。
- 【輸送用機器】 今期2期連続のマイナスで大幅なマイナス。来期はマイナス幅やや縮小。
- 【石油・化学】 今期2期連続のマイナスで大幅なマイナス。来期はマイナス幅大幅縮小。
- 【繊維】 今期2期連続のマイナス、来期はマイナス幅縮小。

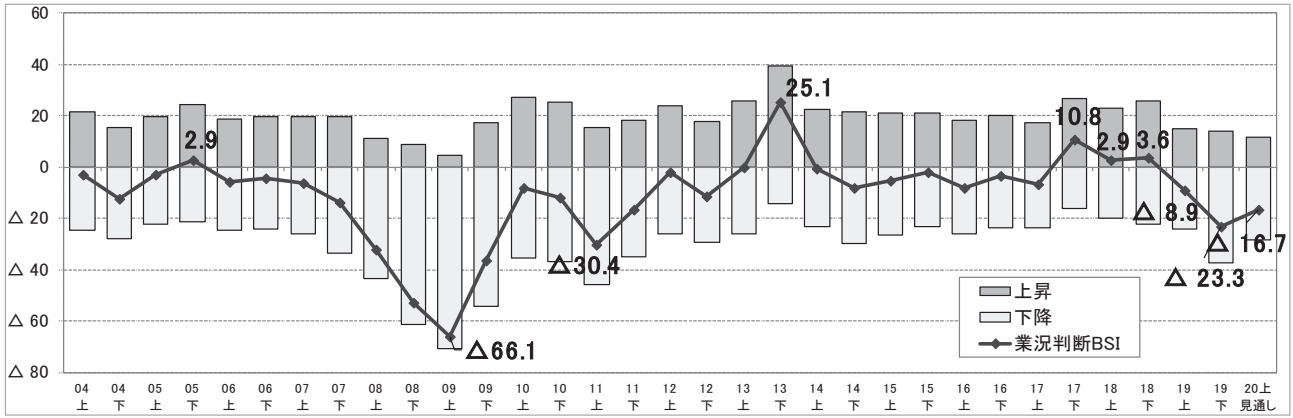
◇非製造業 …今期($\Delta 18.3$)は4期連続のマイナスで2桁マイナスに。来期($\Delta 16.3$)はやや改善。

- 【観光・宿泊】 今期2期連続の2桁プラスを維持、来期もプラス。令和効果、設備投資などがプラスに影響。販売数量・販売価格ともに増加・上昇傾向。
- 【建設】 今期5期ぶりのマイナス、来期はマイナス幅拡大。
- 【サービス】 今期3期連続のマイナス、来期はマイナス幅縮小。
- 【不動産】 今期2期連続のマイナス、来期はマイナス幅縮小。
- 【卸売】 今期2期連続のマイナス、来期はマイナス幅拡大。
- 【運輸・倉庫】 今期3期ぶりのマイナス、来期はマイナス幅縮小。販売価格は上昇傾向。
- 【小売】 今期12期連続のマイナスで大幅なマイナス、来期は横ばい。

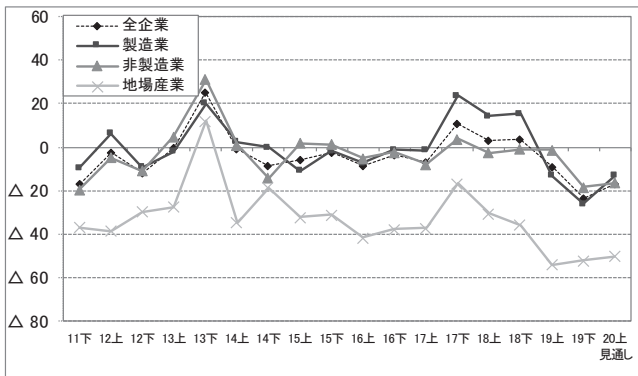
◇地場産業 …今期($\Delta 52.0$)、来期($\Delta 50.0$)とも依然厳しく。

I. 三重県

■ 業況判断BSIの推移



■ 業況判断BSI（業種3区分別）



■ 業況判断BSI（業種別・企業規模別）の推移

		（前回調査時点）										
		15下	16上	16下	17上	17下	18上	18下	19上	19下 (見通し)	19下	20上 (見通し)
全企業		△ 2.2	△ 8.2	△ 3.6	△ 6.7	10.8	2.9	3.6	△ 8.9	△ 21.5	△ 23.3	△ 16.7
規模別	大・中堅企業	△ 2.9	△ 7.1	△ 2.8	3.8	26.2	14.7	6.1	△ 6.3	△ 17.5	△ 23.8	△ 11.1
	中小企業	△ 2.0	△ 8.5	△ 4.1	△ 8.7	8.2	0.7	3.2	△ 9.3	△ 22.2	△ 23.2	△ 17.7
業種別	製造業	△ 1.7	△ 7.3	△ 1.0	△ 1.4	23.6	14.3	15.5	△ 13.1	△ 26.6	△ 26.0	△ 12.9
	食料品	5.9	16.1	4.5	△ 16.7	△ 4.7	△ 7.7	△ 2.7	0.0	△ 13.3	△ 24.1	△ 6.9
	繊維	△ 11.1	22.2	△ 14.3	△ 8.3	12.5	△ 11.1	11.1	△ 12.5	△ 25.0	△ 50.0	△ 33.3
	印刷	△ 25.0	0.0	△ 9.1	△ 42.9	△ 10.0	△ 42.9	△ 50.0	△ 10.0	△ 50.0	△ 33.3	△ 22.2
	石油・化学	5.3	△ 11.1	29.4	21.4	43.8	13.3	35.3	△ 14.3	△ 42.9	△ 40.0	△ 6.7
	窯業・土石	7.7	△ 23.5	△ 16.7	△ 11.8	0.0	18.8	13.3	△ 7.1	0.0	△ 14.3	0.0
	一般機器	8.0	△ 21.4	0.0	19.0	47.6	50.0	△ 5.6	△ 40.0	△ 46.7	△ 23.8	△ 40.9
	電気機器	△ 9.1	△ 31.3	8.3	10.0	50.0	12.5	7.7	△ 6.7	△ 20.0	△ 11.8	0.0
	輸送用機器	0.0	△ 3.6	0.0	20.0	50.0	22.7	13.3	△ 23.3	△ 16.7	△ 39.1	△ 30.4
	その他製造	△ 16.0	△ 9.4	△ 11.5	1.9	26.2	25.9	47.6	△ 10.6	△ 35.4	△ 20.9	0.0
	大・中堅企業	△ 2.4	△ 18.6	0.0	15.2	36.8	23.1	8.8	△ 3.1	△ 25.0	△ 38.2	△ 17.6
	中小企業	△ 1.5	△ 4.0	△ 1.3	△ 6.0	20.3	12.1	17.0	△ 15.2	△ 27.0	△ 23.1	△ 11.8
	非製造業	1.4	△ 5.2	△ 2.4	△ 7.9	3.9	△ 2.6	△ 0.8	△ 1.2	△ 16.9	△ 18.3	△ 16.3
	建設	△ 3.2	△ 13.2	△ 7.8	△ 8.1	13.5	5.1	3.5	1.2	△ 13.8	△ 12.5	△ 18.1
	不動産	△ 8.3	14.3	△ 7.1	0.0	21.4	6.3	0.0	△ 6.7	△ 6.7	△ 15.4	△ 7.7
卸売	5.7	△ 13.2	10.7	△ 8.0	3.6	3.1	10.3	△ 6.3	△ 25.0	△ 18.5	△ 23.1	
小売	△ 3.1	△ 13.9	△ 20.6	△ 17.2	△ 21.2	△ 20.6	△ 14.3	△ 2.9	△ 22.9	△ 48.5	△ 48.5	
運輸・倉庫	4.5	△ 12.5	△ 4.0	10.7	8.0	△ 8.8	8.3	3.7	△ 7.4	△ 24.1	△ 17.2	
観光・宿泊	25.0	33.3	28.6	△ 20.8	△ 15.8	△ 22.7	△ 13.6	21.4	△ 7.1	10.0	20.0	
サービス	2.6	△ 2.1	0.0	△ 8.2	7.7	3.8	△ 5.8	△ 8.7	△ 23.9	△ 14.9	△ 4.3	
大・中堅企業	0.0	5.0	△ 6.5	△ 11.8	11.1	5.6	3.1	△ 6.7	△ 6.7	△ 3.6	0.0	
中小企業	1.6	△ 7.1	△ 2.3	△ 7.3	2.9	△ 3.9	△ 1.4	△ 0.5	△ 18.3	△ 20.2	△ 18.4	
地場産業	△ 31.0	△ 41.4	△ 37.5	△ 37.0	△ 16.7	△ 30.4	△ 35.7	△ 53.8	△ 29.6	△ 52.0	△ 50.0	
製材	△ 11.1	20.0	0.0	△ 16.7	△ 37.5	△ 25.0	0.0	△ 66.7	△ 33.3	△ 50.0	△ 12.5	
真珠養殖	0.0	—	—	—	100.0	—	—	—	100.0	100.0	—	
真珠加工販売	△ 25.0	△ 33.3	△ 66.7	△ 16.7	△ 33.3	0.0	△ 60.0	△ 25.0	△ 25.0	0.0	△ 100.0	
銑鉄鑄物	△ 66.7	△ 50.0	△ 33.3	0.0	33.3	33.3	50.0	0.0	△ 33.3	△ 75.0	△ 75.0	
萬古焼製造	△ 25.0	△ 25.0	0.0	△ 25.0	0.0	△ 40.0	△ 20.0	△ 60.0	△ 40.0	△ 33.3	△ 66.7	
萬古焼卸売	△ 50.0	△ 72.7	△ 57.1	△ 87.5	△ 44.4	△ 83.3	△ 77.8	△ 75.0	△ 37.5	△ 75.0	△ 62.5	

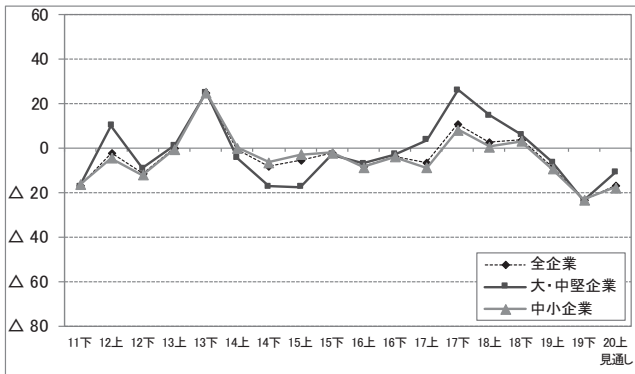
※地場産業と繊維、印刷はサンプル数が少ないため指数の振れに注意する。—は回答がなかったことを示す。

◆**企業規模別** …大・中堅企業、中小企業ともに、今期2桁マイナスに。来期はマイナス幅縮小。

業況判断 BSI を企業規模別にみると、今期は、大・中堅企業 (△23.8)、中小企業 (△23.2) ともに2期連続のマイナスとなり、マイナス幅が拡大。来期は、いずれもマイナス幅が縮小し改善した。

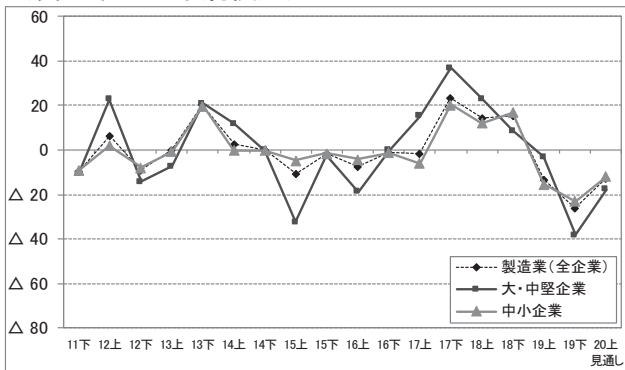
今期については、とくに製造業の大・中堅企業 (△38.2) における落ち込みが大きく、前期 (△3.1) および前回調査時の見通し (△25.0) を大きく下回った。

■業況判断 B S I (企業規模別)

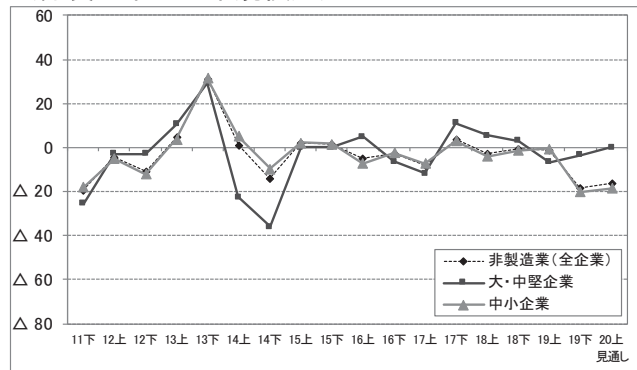


※左図のデータには、地場産業を含む

(製造業・企業規模別)



(非製造業・企業規模別)



◆**地域別** …全地域で今期・来期ともマイナス。今期はとくに北勢、伊賀で落ち込み大きい。

業況判断 BSI を地域別にみると、いずれの地域も今期・来期ともにマイナスとなったが、とくに北勢と伊賀で落ち込みが大きい。今期、北勢は△33.3で見通しより悪化、伊賀は△21.3でほぼ見通しの通りとなった。来期は、いずれも改善するが2桁のマイナス。いずれの地域も製造業の割合が高いためとみられる。

■業況判断 B S I (地域別) の推移

	(前回調査時点)										
	15下	16上	16下	17上	17下	18上	18下	19上	19下 (見通し)	19下	20上 (見通し)
全地域	△ 2.2	△ 8.2	△ 3.6	△ 6.7	10.8	2.9	3.6	△ 8.9	△ 21.5	△ 23.3	△ 16.7
北勢地域	3.0	△ 10.6	△ 8.1	△ 5.8	21.1	7.5	8.4	△ 12.0	△ 26.8	△ 33.3	△ 21.9
中勢地域	△ 7.0	△ 10.5	△ 0.9	△ 10.1	3.4	△ 1.6	2.7	△ 6.5	△ 18.9	△ 15.9	△ 12.4
南勢地域	△ 18.5	△ 1.5	1.4	△ 13.9	△ 17.5	△ 1.5	△ 13.5	△ 4.9	△ 16.1	△ 11.1	△ 8.1
伊賀地域	0.0	2.5	1.8	17.4	23.3	11.1	13.3	△ 8.1	△ 21.6	△ 21.3	△ 12.8
東紀州地域	23.1	△ 13.3	△ 8.1	△ 18.5	4.0	△ 11.8	3.1	△ 6.7	△ 6.7	△ 14.3	△ 25.0